

東アジアを揺るがすチュウチエ思想

26日に浦添で講演会

琉球新報、沖縄タイムスを正す県民・国民の会

代表運営委員 我那覇真子

10月3日、韓国ソウルにおいて文在寅大統領退陣を叫ぶ大規模なデモが行なわれた。参加者が百万人を超えたにもかかわらずこのデモも例によつて日本はもとより韓国でも左翼メディアはまともに伝えようとしなからぬ。日韓左翼に都合が悪いからだ。

この空前絶後の保守大衆デモ実現の立役者がいる。篠原常一郎というジャーナリストだ。氏は、確たる情報にもとづいて韓国大統領文在寅が北朝鮮労働党秘密黨員である事を日本の保守言論誌上で暴露した。この情報は、またたく間に隣国に伝わり韓国世論に一大衝撃をもたらした。現職大統領が北朝鮮のスパイであるというのだから韓国国民の受けたショックは計り知れない。結果、文在寅体制を倒さなければ韓国が亡ぶと

いう危機感が一般大衆を立ち上がらせることとなった。今韓国は、内戦一歩手前の状態にあるという。

正す会は、その注目を集める篠原常一郎氏をお招きして講演会を行う。今回氏は何をもつて沖縄講演会に臨まれるのか。それは、ズバリ北朝鮮主体思想勢力の

沖縄浸透危機である。なぜ、反基地闘争の現場にハンブル文字の横断幕等が多数あるのか、なぜ活動家の中に在日や韓国籍の者がかなりの人数いるのか、なぜ主体思想研究会の全国連絡所が沖縄にあり多数の県内大学教員、教育関係者がそのメンバーとなっているのか。その闇が氏によつて明らかにされることとなった。元共産黨員にして愛国者である氏は、この主体思想勢力を日本の最大脅威と見てこれと断乎戦つと宣言している。

ところで氏は、剛胆な人物である。氏は自身のイン

ターネットチャンネルで時に泡盛残波カクテルを片手に一人悠悠と重大テーマを語る。実力は、軽やかさとなつて表れるという典型だ。人物としても興味が尽きない。今回もまた時宜を得た講演会となる。

琉球新報、沖縄タイムスを正す県民・国民の会10月定例会特別講演会のご案内
 【演題】「日本人拉致、沖縄、北海道、そして韓国：東アジアを揺るがすチュウチエ思想」

【講師】篠原常一郎(ジャーナリスト、元民主党/共産党国会議員秘書)

【日時】令和元年10月26日(土) 受付午後5時半 開始午後6時

【場所】浦添市社会福祉センター大研修室

【参加費】会員無料(一般500円)

【主催】琉球新報、沖縄タイムスを正す県民・国民の会

誘い izana

